

# Therapy and care

# KIHARA STYLE



今や、胃がんは予防出来るって知ってますか？



ピロリ菌のことはご存知でしょうか。最近では検診やドックでも検査されることが多く、ユニークな名前は聞いたことがある方も多いと思います。以前に爆風スランプというロックバンドがピロリ菌の歌を作ったこともあります。ピロリ菌は、正式にはヘリコバクター・ピロリといい、人の胃にいる細菌です。胃は胃液に含まれる塩酸が非常に強い酸性なので、細菌は生きることができないと考えられていました。しかし、1982年、オーストラリアの医師二人が、胃内に生息しているこの菌を分離して培養することに成功しました。ピロリ菌は胃に感染すると胃炎や胃潰瘍の原因となり、進行すると胃がんや悪性リンパ腫を発癌することがあります。かつては衛生環境の不整備や井戸水の飲水が感染の原因と言われていましたが、最近では小児期の口移しなどで感染することが指摘されています。ピロリ菌の検査は、内視鏡(胃カメラ)を用いて胃粘膜を直接調べる方法が確実ですが、簡易検査として血液検査や便検査/尿検査、呼吸検査でも感染の診断が可能です。除菌治療は比較的簡単で、数種類のお薬を1週間飲めばほとんどの方が除菌できます。『胃液の中に菌がいる』という画期的な発見から、『除菌治療が胃がんの予防になる』という医学の進歩に貢献し、発見者はノーベル賞を受賞されました。

現在ピロリ菌の診療は確実に進歩しており、最近では治療薬の数が増え、新薬の開発もあり、特殊なケースでは保険診療だけではなく自由診療で治療が可能です。

この恩恵を一人でも多くの方に享受できるように、ピロリ菌診療を進めてまいりたいと思います。ピロリ菌のことが気になる方や、他の病院で治療が困難と言われた方は是非ご相談下さい。



内科医師 原口春毅



ここに注目！

## 【 ヒアルロン酸・ボツリヌストキシン(ボトックス)注入療法を導入します 】

ヒアルロン酸注入は、シワの溝を埋めることでシワの改善を図り、ボトックスはしわ・たるみに効果があります。

その他にも、食べ物を噛むことで発達してしまったえら部分の咬筋(こうきん)に「ボトックス注射」することで、緊張したえらをほっそりさせ、角ばった輪郭を改善。小顔効果も期待できます。

今回、木原会では、歯科分野におけるアンチエイジングに対するアプローチとして、ヒアルロン酸注入療法、ボトックス注入療法を導入する事と致しました。



アンチエイジングの中には、健康な体の維持だけでなく、若返りもあります。

審美的な回復を考慮した入れ歯やインプラントを装着することで満足される方もいらっしゃいますが、さらにキレイになりたい、若々しくなりたいというニーズをお持ちの方も大勢いらっしゃいます。

私たちが取り組む注入療法は、このようなお客様への適応であり、結果として高い満足度が得られると考えています。

近日中に導入時期、金額等の詳細をお知らせいたします。ご期待下さい。

歯科医師 渡邊泰洋

## 自宅に来てくれる歯医者さんがいます！



「歯科治療を受けたいけど、一人では通院が難しい」

「要介護認定を受けているため介護が必要で、自宅から離れられない」

このような状況により、歯科医院に通うのが難しい方に【訪問歯科診療】という訪問介護サービスがあります。ご自宅や介護を伴う施設などに歯科医師や歯科衛生士が往訪し、お口に関する診療を行うものです。往訪する時は、診療の道具も携帯してきますので、特に何もご用意いただくことなく大丈夫です。

歯科医院への通院が難しい患者さまは、お口にトラブルを抱えている事が多いです。

お口の状況が悪くなると、食べる力や飲みこむ機能に大きな影響を与え、全身的な変化を引き起こす事があります。また全身的な病気の影響で、食べる・飲むという機能が低下してしまうこともあります。

訪問歯科では「全身状態から必要とされる、お口の治療」が大切だと考えております。1本1本の歯の治療も、とても大切なことだと思いますが、少しでも現在の身体の状態を維持できるよう、

また残った機能をいかに引き出せるか、維持できるかということを中心に考えながら歯科診療を心がけております。また歯科診療におけるストレスや身体の負担を配慮し、無理がない範囲での治療を行っております。

要介護の方のような、特に身体にハンディキャップをお持ちの方は、お口にもハンディキャップを抱えているケースが多いです。身体的に介護を必要とする方は、お口にも訪問歯科という介護が必要と考えております。

これから更に高齢化が進む日本、人生最後の時まで、如何に快適に過ごすかを考えることは、

ご自身だけでなく、ご家族にとってもとても重要なことではないのでしょうか。

訪問歯科についてのご質問、ご希望の方は、お気軽にお声掛けくださいませ。

当医院ホームページにも掲載されております。



ポータブル歯科器材



ポータブルレントゲン

\*このような機材と一緒に往訪します



訪問歯科医師 伊藤吉哉



## 歯 vs 食のテクノロジー

「近未来、人類の食生活は食べ物を自分の歯では咀嚼せず、味は脳感覚で楽しみ、栄養はサプリメントという時代が来る…」

という記事…。『そんなことは絶対はない！』と思いました。

今は家に居ながら VR ゴーグルをかければ、観光名所を堪能できるようになり、

映像のリアル感と 360 度の視覚のテクノロジーには本当に驚かされる。そこでその技術を駆使して、減塩や糖質制限がある人でも、食べたい物を心行くまで食べられるようになるという。つまり食事の時に VR ゴーグルをかけて、食べたい物が最高に美味しそうな映像を見ながら、食欲を満足させるというカラクリだ。

実際に東京大学の鳴海准教授による研究で、チョコクッキーの画面を見ながら、チョコの香りも漂わせた環境でバタークッキーを食べてもらすと、8 割の人が『チョコクッキーの味がする』と回答。また画面のクッキーを大きくすると実際に食べた量よりも満腹感が高まるという結果も。

しかし本来、食事はエサでもなく、栄養補給だけでもない。食べる喜びとは誰かと会話をしながら分かち合い、噛みしめ、味わい、恵みに感謝するもの。どんなにテクノロジーが進化しても、決して食事の本質は変わらないと信じたい。

そして時代が変わっても『やっぱり健康な歯があるからこそ、美味しい食事よね～～』と言いつけたい。

20XX 年、子供の頃から VR 体験が当たり前の『VR ネイティブ世代』の食生活がどうなるか？

昭和世代は、ただただ憂います。

木原歯科新杉田医院 金澤智子

